

筑波大学 リケジョ NEWS LETTER

平成30年9月

平成30年度女子中高生の理系進路選択支援プログラム「中高生理工系進学応援シンポジウム」及び「リケジョサイエンス合宿」開催報告

「中高生理工系進学応援シンポジウム」と「リケジョサイエンス合宿」を行いました！

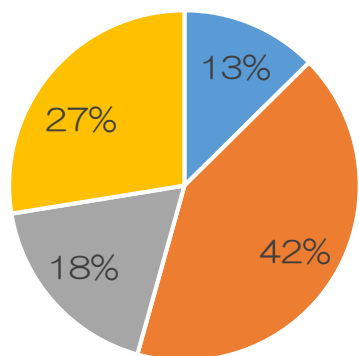
筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター ダイバーシティ担当では平成25年度より「リケジョ合宿・カフェ」を企画し、女子中高生が多様な理系分野の魅力を知り、体験できるプログラムを実施しています。

今年度からは、例年実施しているリケジョ合宿に加え、初日には「中高生理工系進学応援シンポジウム」として男子学生も含めて広く参加者を募り、さらに近郊の研究機関の協力もいただき、参加者の交流の場や中高生の研究発表の場を新しく設け、より多角的な視点からプログラムを実施いたしました。

8月20日（月）に開催したシンポジウムでは、130名の中高生のうち茨城県内のSSHによる研究発表ブースの4校・21名が参加いただきました。

8/20（月）～22日（水）の2泊3日でのリケジョサイエンス合宿では、全国各地から79名の女子中高生（中学生32名、高校生47名）に参加いただきました。

Q. 理系・文系を選択するうえで
悩みや不安がありましたか？



- とてもあった
- 少しあった
- あまりなかった
- 全くなかった

参加した中高生へのアンケート結果から、プログラムに参加する以前は、理系には興味があるがなぜ研究をはじめたのか？研究は何のために行うのか？というような疑問を抱いているようでした。

進路選択においても「理系か文系、そして専攻をどのようにどうきめるのか」と悩んでいる中高生も多くみられました。

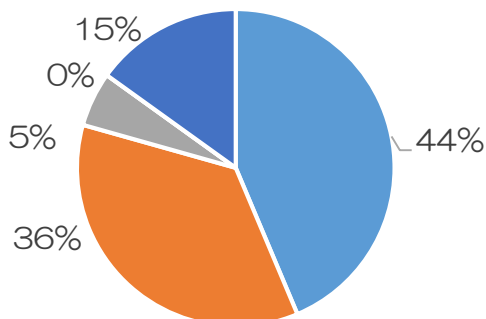
様々な分野で活躍されている方に相談できる安心感、体験談をもとに感じたことを実践して将来のキャリアに繋がられるよう、筑波大学の大学生や大学院生も輪に入り、宿泊も共にし交流を図りました。新たな関心や不安解消に繋がられたと感じております。



中高生理工系進学応援シンポジウムアンケート調査結果

事後アンケート調査によると、参加者の満足度80%ととても高く、実際に現場で働いている方からありのままの意見が聞けて、とても参考になった、楽しかった。などと、前向きな感想が多く見られました。

シンポジウムの満足度



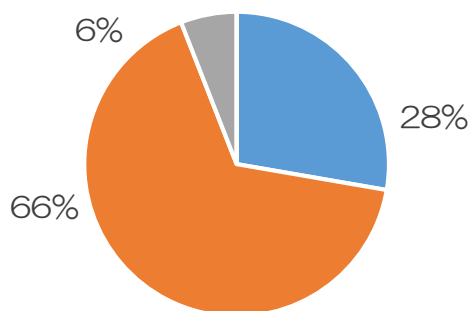
- とても満足できた
- 満足できた
- あまり満足できなかった
- まったく満足できなかった
- 無回答

親から聞く話だけでは、よく分からない就活の事や仕事内容など細かい所まで聞けてとても面白かった。



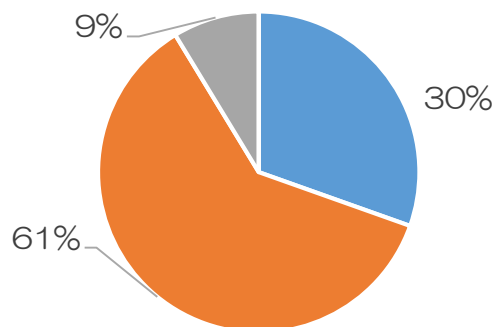
色々な楽しい仕事があると知れた。詳しい事も新しい事も学べて視野が広がった。

中高生のブース出展の満足度



- とても満足できた
- 満足できた
- あまり満足できなかった
- まったく満足できなかった

ブース出展を行ってみて



- とても満足できた
- 満足できた
- あまり満足できなかった
- 満足できなかった

ポスターの作成や今後の研究についてアドバイスもらった。研究設備の問題もあるが、できるだけやってみよう。



今後の研究に活かしていきたい、意見などを頂いたのが参考になった。

医療機器のデザインをする人が少ないと聞いて、少し驚いた。

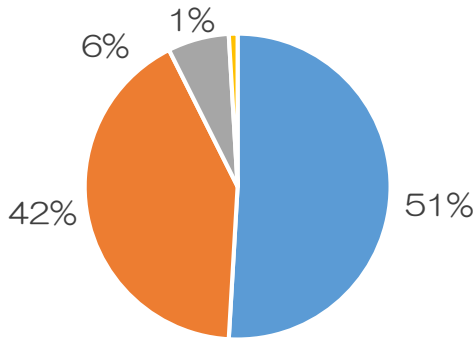


研究者とはどういうことをする人なのかを実際の研究者と会って学ぶことができた。また理系の分野には様々な内容の仕事があることを知った。

リケジョサイエンス合宿アンケート調査結果

リケジョサイエンス合宿では、年齢の近い中高生や大学生、先生方など多くの人と交流でき、理系の学習分野について知ることができて、進路選択に役立てたいと思った。など、将来の夢に向かって前向きな感想が多くみられました。

ラウンドテーブルカフェの満足度



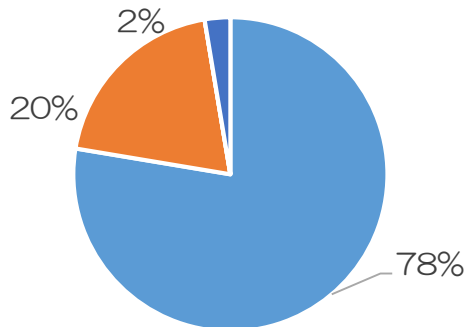
- とても満足できた
- 満足できた
- あまり満足できなかった
- まったく満足できなかった

経歴や職業についたきっかけ、理系選択のきっかけなどをきくことができ、とても参考になった。



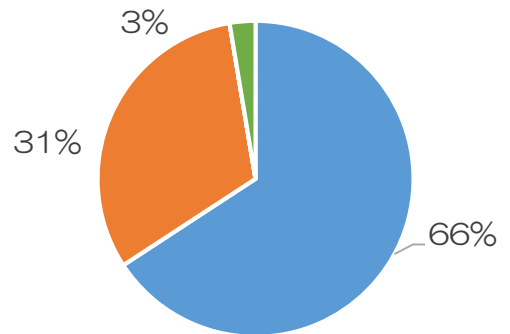
生活のことや大学に入ってからのこと、進路選択のことなど話してくださったので、新たなことを知ることができとてもよかった。

実験体験の満足度



- とても満足できた
- 満足できた
- あまり満足できなかった
- まったく満足できなかった
- 無回答

この合宿で理系や科学技術に関心が高まりましたか？



- とても高まった
- 少し高まった
- 変わらない
- 少し減った
- なくなった
- 無回答

漠然と研究員になりたいと思っていたが、現実的なことを聞けたりして、進路についてもう一度考えることができた。



音響学というジャンルがあること、また工学系も機械を作るだけでなく社会の知識も必要になることが興味深かった。



マウスの解剖の見学や実験は初めてだったのでとても楽しかった。

ラウンドテーブルカフェ・サイエンス実験体験の講師から一言



中高生の時期はまだまだいろんな経験ができるし、多くの可能性を拓けられるとき。特定の科目が苦手とか、これが得意じゃないとか、否定的な感覚で自分の可能性を狭めるのではなく、これに興味があるとか、こういう経験は面白いとか、前向きな感覚で自分の可能性を拓けていってほしい。自分の進路を決定づけるような因子は、意外と身近に転がっているかもしれません。



ラウンドテーブルカフェで皆さんが将来の夢やこれからの進路に真剣に向き合っている様子に大変感心するとともに、自分自身もよりいっそう頑張らなければと勇気づけられました。将来またどこかでお会いできるのを楽しみにしております。



今自分がやりたいことを思いっきり楽しんでください。勉強や受験ばかりに気を取られずに、今できる趣味や読書を満喫してください。理系でも理数系の勉強ばかりせず、小説や歴史にも興味をもてたら素敵ですね！



エネルギー問題について少しでも興味を持ってもらえたら、またみなさんが進路を選ぶ参考になれたなら幸いです。ご縁があればまたお会いしましょう。

学生スタッフから一言



これまで数多くの答えのない問いと向き合ってきたでしょう。そして、これからも向き合っていくのだと思います。答えのない問いと向き合う行為には、孤独が伴います。苦悩も伴います。でも、そこから逃げないでください。それらに負けないでください。そして、どうか問い続けてください。答えのない問いの中には、問い続けることに価値がある問いがあると思います。それらと向き合う過程を通じてあなたが成長することを心より楽しみにしています。



好きな事、興味をもったことなど些細なことから自身が極めたいこと、深めていきたいことを探っていくと嬉しいです。



理系科目への興味を失わず、勉強頑張ってください。



将来の夢や目標に固執せず、幅広い興味と体験を大事に進んでみてください！



みなさんの頑張りにも私も刺激を受けました！この貴重な経験を無駄にすることなく、これからも自分の道を突き進んでいってください！

